

植樹で美しい“いえなみ”を楽しみましょう！

植栽を基調としたいえなみは、道路に面した場所につくることで、あなたの家を引き立たせるだけでなく、緑が増えることでまちなみのイメージアップにつながります。



危険なブロック塀をなくして、緑豊かな美しいいえなみに

道路に面するブロック塀は、地震により転倒すると、歩行者に重大な危険を及ぼす恐れがあるので、危険なブロック塀はいち早く撤去し、安全なものに造り替えましょう。塀を造り替える際には、道路側を見せる庭として植栽することで、緑豊かな美しいいえなみを形成し、まちにゆとりや潤いを与え、心の豊かさを感じられる暮らしの実現につながります。また、延焼防止の面でも防災機能を高めることにつながります。



樹木を美しく見せたいときは

生垣は、樹種、刈り込み、整然としたもの、リズムのあるもの、自然な雰囲気を活かしたものなど、いろいろなデザインをつくることができます。また、垣や石垣、花の咲く樹木などを組み合わせることにより、雰囲気を変えることも可能です。



刈り込み垣

玉づくり垣

様々な樹木の組み合わせ

初心者にも
オススメ!

生垣や連続した植樹に向いている樹木

生垣には、比較的刈込に強い樹種を選択します。高さや枝葉の密度を調節することで、遮蔽機能、通風機能を調節できるメリットがあります。

○花を楽しめる樹木



アベリア (スイカズラ科)

白色の花が6~11月と長く楽しめる。高さは1m程度。枝がよく徒長(間延び)するので、剪定をして樹形を整備するとよい。



キンモクセイ (モクセイ科)

10月頃、橙黄色の小さい花が咲き、芳香を漂わせる。静岡県の木。高さは2~3m程度。花芽ができる前(2~3月)、開花後(11月)に剪定を行うのが良い。



ドウダンツツジ (ツツジ科)

4~5月頃、壺型の小さな花を咲かせる。秋の紅葉も美しい。高さは1m程度。落葉樹のため、冬場は目隠しにはならない。

○葉を楽しめる樹木



ツバキ類 (ツバキ科)

ヤブツバキやサザンカなど、つやのある葉が特徴。品種も多く、花も楽しめる。チャドクガがつきやすいため、手入れの際には注意が必要。



トキワマンサク (マンサク科)

細いヒモ状の鮮やかな赤や白の花(4~5月)をつけ、赤葉で人気が高い。高さは1~2m程度。



レッドロビン (バラ科)

赤い新芽の葉に光沢のある美しい木。成長も早く、短期間で生垣としての機能を果たす。高さは1~3m程度。

○目隠しの効果が高い樹木



コノテガシワ (ヒノキ科)

葉に表裏がないのが特徴。子どもの手の平を立てているように見えるのが名前の由来。自然樹形を尊重して間隔を開けた植栽。高さは1~3m程度。



イヌマキ (マキ科)

伊豆ではアスナロと呼ばれることがある。防風機能が高い。高さは1~3m程度。自然樹形もよく、強剪定にも耐えるので、幅広く利用できる。



ビヤクシン (ヒノキ科)

鱗状の葉が特徴。日差しや乾燥に強く、潮風にも耐える。ナシの仲間(ナシ、リンゴやカイドウ)にみられる赤星病を媒介するため、これらの樹木と近接して植えないようにする。

★は耐潮性がある種(潮風に強い)を示す。

※高さは目安となるので、高さや樹形の維持には定期的な剪定などが必要となります。